

鳴門市大麻中学校

1 学校の概要

① 生徒数 284名

② 校訓「誠実」

めざす生徒像

- ・生命と人権を尊重し、差別をゆるさない人間
- ・真理を求め、誠実に生きる人間
- ・健康な心身をもち、勤労を愛し、社会に貢献できる人間
- ・自主的・自律的で創造性に富み、知性と実践力をもつ人間
- ・人や自然を愛することに喜びをもつ人間

③ 環境目標・テーマ

豊かな環境の中で生活できることに感謝し、環境にやさしい学校づくり、そしてよりよい環境づくりのために自分たちのできることを考え行動する。

- ・「節電」「ごみ分別」「リサイクル」に取り組み、行動できる生徒の育成
- ・校内の環境を整え、花や緑を大切にす生徒の育成
- ・環境問題に関心をもち、自分たちのできることを考え、行動できる生徒の育成



2 行動方針

① 学校における節電に努める

② 学校におけるごみの分別に努める

③ リサイクル活動に努める

④ 校内や地域の環境を整える



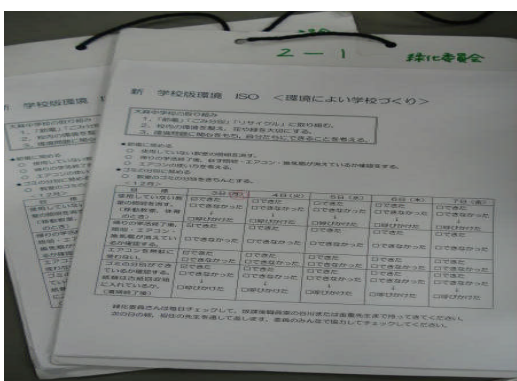
3 行動

① 環境コーナーの設置



職員室前の廊下に環境コーナーを設けた。電気・水道使用量の月別推移と、昨年度との比較をグラフに表し、節電・節水に対する意識を高めている。また「環境だより」を委員会で作成し掲示している。環境に関する話題や、アンケートの結果を載せている。さらに、環境クイズも掲示して、環境問題に関心をもてるよう工夫している。

② チェックシートで毎日点検



節電とゴミの分別、古紙回収ができていないかを、委員会の生徒がチェックシートで毎日チェックする。その結果を1か月単位で集計し、全校集会の委員会の発表で報告する。毎日調べることによって、委員会の生徒も自覚をもって行動するようになった。またできなかったときは、クラスみんなに呼びかけることができるようになってきた。

③ 校内や地域の環境を整える



(6月10日の除草作業)



(8月26日の除草作業)

ふれあい除草作業を6月と8月の2回行った。日曜日の早朝にもかかわらず、たくさんの生徒、保護者の方々の参加を得ることができた。よくのびていた草がきれいに刈り取られ、すっきりとなった校内を見るとすがすがしい気持ちになった。



(10月30日ビオラの花を植える)

生徒の自転車置き場から校舎の玄関に続く通路に、プランターに植えた花を置いている。花はその時期に合ったものを委員会の生徒で植えている。5月にはマリーゴールド、10月にはビオラ、12月にはサクラソウの苗を植えた。また水やり当番も決めて、大切に育てている。

4 具体的効果

- ◆ 委員会の生徒が移動教室の時や、放課後教室を出る前に、照明や換気扇のスイッチが消せているかを必ず確認するようになった。そのため、照明がついたままの教室がなくなってきている。委員会の生徒も責任をもって、チェックカードに記入し、できていないときはクラスに呼びかけることもできるようになってきた。
- ◆ ゴミの分別もよくできている。もっとゴミを少なくすることができるように、古紙回収に力を入れて活動することが次の目標となった。
- ◆ 職員室でも、裏面が利用できる古紙を集めて、職員に配るプリントはその裏面に印刷することが習慣になっている。

5 改善点

- ◆ 委員会の生徒たちの意識は高まっているので、全校生徒にこの意識が広まるように活動していきたい。
- ◆ よりよい環境づくりのために自分たちができることを考え、行動していけるよう、また校内だけでなく、家庭や地域にも広げることができるよう活動していきたい。